

新しい電波利用の姿を展望

— 電波有効利用促進セミナーを開催 —



セミナー会場

7月15日、金沢市内のしいのき迎賓館において、北陸総合通信局との共催による「電波有効利用促進セミナー」を開催しました。

我が国の電波利用は、移動系のブロードバンド契約が急増し固定系の超高速ブロードバンドの加入者数を超えるなどブロードバンド環境の実現に極めて重要な役割を果たしています。それに伴い、移動通信のトラフィックも急激に増加し、有限希少な国民の資源である電波の有効利用が益々重要となっています。

今回のセミナーでは、総務省総合通信基盤局の電波環境課長の星氏から、電波ひっ迫解消のための政策の抜本的な見直しと世界最先端のモバイル立国の実現・維持を図ることを目指して総務省が開催している「電波政策ビジョン懇談会」の中間報告に盛り込まれた電波の有効利用のための新たな方策など最新の電波政策の動向が紹介されました。

続いて、最新の電波有効利用の取り組みとして、独立行政法人情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究所スマートワイヤレス研究室 主任研究員 村上誉氏からホワイトスペースを活用したLTE技術による移动通信システム等の研究開発動向と実現に向けた標準化等の状況を分かりやすく解説いただきました。

更に、トヨタ自動車株式会社 IT・ITS企画部 ITS開発室長の木津雅文氏から、トヨタが目指すスマートモビリティ社会を実現するための取組のうち、電波を利用したサービスや事故防止システムの実証実験などについてご講演いただきました。

本セミナーには80名の参加があり、我が国の新しい電波利用の姿を展望して熱心に聴講していました。



主催者挨拶 北陸総合通信局
濱崎無線通信部長



総務省 総合通信基盤局 電波部
電波環境課長 星 克明 氏



独立行政法人 情報通信研究機構
主任研究員 村上 誉 氏



トヨタ自動車株式会社
ITS開発室長 木津 雅文 氏